

## 芦別岳

5月18日(土)

一日目は、前泊である。早めに着いたので、三つ葉を採り夕食の足しにする。夕食は、相馬さんの創作料理。おいしい料理に、酒が進む。8時頃、就寝。

5月18日～19日

CL 長沼 L藤木 SL澤田  
メンバー 相馬、荒谷、笹山、  
八重樫、栗山、小川



5月19日(日)

3時起床。朝食をとり、テント撤収。5時快晴の中、登山口発。6時C617通過。以前はここが見晴台だったはずだが、標識等なし。

7時見晴台で写真撮影。見晴台の場所が変わっている。ここを過ぎると呻吟坂。「呻吟坂 序章」「呻吟坂 頑張れ」などの標識が出てきて楽しい。

そのうち雪が出てきたので、慎重にルートファインディングしながら進む。8時鶯谷(覚太郎コース分岐)着。夏道を探しながら登る。

10時半面山着。屏風岩が眼前に迫る。雲峰山とのコルでアイゼン装着。11:05雲峰山着。ここで、中国人女性と会う。日本人と結婚したという。家族は頂上を目指して登っているが、ここから先は怖いので、ここで待っているという。



ここから頂上への急斜面を登る。急斜面には、スキューのシュプールがある。よくここを滑るなあ、と思いながら登り、12時頂上着。ゆっくり歩いたので、7時間要した。しかし、頂上からの眺めは格別。気温が急激に上昇したせいか、若干かすんでいるものの、

十勝連峰、下ホロ山、夕張岳に日高山脈のほか、<sup>まりぎし</sup>崖山のギザギザの山容も見える。足元には、ツクモグサが可憐な花を咲かせている。



集合写真を撮り、昼食を摂り、12時半頃山頂発。急斜面を下る。ここが一番の核心部。何しろ当山岳会で滑落事故のあったところであり、私も当山岳会に入る前、ここで同行メンバーが滑落した経験がある。慎重に下り、雲峰山に着いてほっと一息。ルートファインディングに注意しながら長一い下りの末、16時40分登山口着。なんと12時間近くの行動時間である。でも、疲労感はなく、太陽の里駐車場で解散後、札幌へ帰る。(小川・記)